

かわら版

集落支援員だより



「写真やSNSを通して岩代の魅力を発信。今回のアドバイザー体験を経て夢が膨らんでいます」

この春開催された桜ウォーク「撮り春」のイベントで講師兼フォトグラファーを務めたMIHOさんは西勝田出身です。岩代観光協会の公式インスタグラムの立ち上げにも尽力してくれたMIHOさんに、岩代について思うことや今後の抱負についてお話を伺いました。



▲MIHOさんによる愛犬とのお気に入りの自撮り写真。

◆写真を始めたきっかけは？

東京で暮らしていた私が、転職を感じて故郷へのUターンを決意したのが約三年前です。東京では会社勤務の傍ら副業としてインスタの運用に、関わり、いわゆるインフルエンサーとして活動していました。帰郷にあたり、今までの経験を生かして個人として活動したいと思いました。ブライダル界のフォトウエディングにも関わったことがあり、プロの写真を見て、「自分ならもっと素敵な写真が撮れる」と感じたことから、写真の基礎を学び、フォトグラファーとしての活動をスタートしました。



▲4月下旬、百目木のりんご畑にて。「毎年訪れたい場所です」

◆岩代との関わりについて

昨年、私の写真を見てくださった岩代観光協会の方から「合戦場のしだれ桜を撮影してほしい」という依頼が入りました。その際に「せっかく写真を撮るならホームページだけでももったいないので、インスタを立ち上げてみては？」と提案させていただき、SNSによる情報発信アドバイザーを務めさせていただくことになりました。

MIHO HARADAさんが選んだ岩代の映えスポット

フォトグラファーMIHOさんに岩代のフォトジェニックな場所や魅力ある場所、ベスト3を選んでいただきました。

★第1位：杉沢の大杉★

秋のキバナコスモスは圧巻です。人を囲んで撮るのも、大杉を絡めて撮るのも最高でした！アジサイやヒマワリの季節には行ったことがないので、今後、その時期に訪れるのが楽しみです。

★第2位：日山★

日山からの景色が大好き。星空を眺めながら撮影してみたいです。他にも写真に撮りたいシーンがいっぱいです。

★第3位：合戦場★

王道すぎるので外すことも考えましたが、やはり外せませんでした（笑）。ピンク色に染まるさくら回廊や黄色い絨毯のような菜の花畑を思い浮かべると、来年の春が待ち遠しく感じられます。

▶「今年は合戦場を何度も訪れ、しだれ桜や菜の花をたくさん撮影しました」。



▲岩代観光協会のInstagram「いわしろP」。「日本の過疎地最先端」「岩代」をキーワードに岩代の魅力を写真で広く世界に向けて発信中です。（上のQRコードを読み取るとアクセスできます）

◆今後の抱負について

今回の岩代での体験をきっかけに、色々とやりたいことが見えてきました。写真を通じて岩代の魅力を伝えていきたいですし、個人や団体の人たちがSNSを立ち上げるお手伝いもしてみたいです。また記念日を写真で祝うアニバーサリーフォト、自分のお気に入り一枚を遺す撮影撮影会など、インスタレーションが湧いてきて夢が広がっています。



▲成田のハナモモロードで、岩代おじさんの一人、安齋さんを撮影。

～「岩代おじさん図鑑」世界へ！～ 韓国テレビ局の取材が入りました



▲韓国テレビ局の3人が「岩代おじさん」を取材。

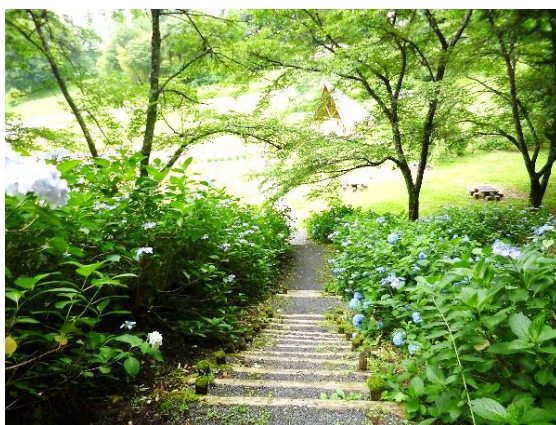
「岩代おじさん図鑑」を通して地域の魅力を発信する取り組みが韓国で紹介されることになり、去る6月3日・4日に韓国の公共放送KBSの取材陣が岩代を訪れました。

初日は「岩代おじさん」兼ふるさと記者、大内英克さんが小浜中学校と相模屋を訪れ取材の様子が撮影されました。その後、農家民宿「清峰園」で岩代おじさんの4人が交流の様子が撮影され、インタビューも行われました。女将、山崎友子さんによる料理や地元産の蕎麦がふるまわれ、取材陣との歓談の時間も設けられました。

韓国の番組名は、「世界は今」。世界各国の最新の話題を取り上げるKBSの人気番組で、今回の「日本編」では高齢化が進む日本の過疎地で元気に楽しく暮らしている「岩代おじさん」を取り上げる予定です。



▲取材陣と岩代おじさんが談笑。「韓国のおじさんにとって、岩代おじさんの生き方が何らかのヒントになれば嬉しい。自分たちも岩代おじさんのように生きたいと改めて思いました」とのこと。



▲大杉裏手の山には登り口がいくつかあり、自由に散策できます。階段が整備され、歩きやすくなっています。

岩代を愛する人がお勧めする魅力スポットを紹介。二十八回目は杉沢の相馬栄一さんです。

I Love Iwashiro ②⑧
杉沢の大杉・アジサイ

「杉沢の大杉」の裏手の山にはアジサイが群生し、山の中に散歩道がつくられています。現在のようになにに整備されたのは、平成二十四年頃、隣にある台松塚のコスモスが新開です。その際に「杉沢にはコスモスだけでなくアジサイの群生地があるけれど、日当たりが悪くて育たない。市の土地なので相談してみよう」という声が地元の人から上がり、実現の方向に向けて動き出しました。

令和二年に杉林間伐の協議会が開かれ、令和四年に杉林に植栽された側の高アジサイを一時的に刈り取り、市民との協働による地域づくり支援補助金を活用して遊歩道を整備し、移植しました。



◆紹介者◆ 杉沢行政委員 相馬栄一さん



「地元の皆さんの協力で整備されました。大杉の新たな観光資源として大切にしたいです」

毎年、六月中・下旬頃から七月にかけてアジサイが山の斜面に咲き誇り、大杉を訪れる人の目を惹きつけてくれます。

また、大杉の入り口の道路沿いには一足早く白いアジサイが咲きます。大杉を愛する人々が整備した散歩道をぜひ訪れてください。



▲丸太のテーブルや椅子で、しばし休むこともできます。

岩代の歴史シリーズ 台松塚館 その③

台松塚館保存会

副会長 赤沼英一

古老によると、ここ台松塚には征夷大将軍坂上田村麻呂にまつわる伝説もあるという。

平安時代、蝦夷討伐の命を受けた坂上田村麻呂は、大滝根山にて高丸を追討して杉沢に引き揚げ、この地に逗留したという。そして、この地には、小野藤堂山などの兵と戦った際に座して指揮した石があるという。また、大杉由来記彫刻版などによると、昭和二十六年十二月二十四日、本田三郎氏が調査した石像は、伊達政宗公が支配するまでの台松塚館城主佐藤大隅守倉人が戦勝祈願した地蔵であるといわれているが、これもここにはなかった。

どちらも杉沢地区には大事な歴史的な遺産である。

地域住民などに聞取りし、ようやくこちらも発見。この公園の一角に建立し、この地の歴史的な証とした。また、休憩所として、東屋を建設した。

さらには、探し求めてようやく見つけた鐘を設置。「希望の鐘」と命名した。

「あなたとあなたの大切な人の未来が希望あふれるように。小さな幸せは一つ。平穏な幸せは二つ。いっぱい幸せは三つ鐘を鳴らしてください。」

散歩の人、子供づれの夫婦、赤ん坊を抱いた母親、若いカップルなどが鐘を鳴らしていく。今日は鐘の鳴らない日はない。